

# 病院の 実力

～山形編 151

## 手術適応 専門医受診を

今月と来月は脊椎脊髄の病  
気を取り上げる。今回は「首  
の病気」で、脊椎脊髄専門医  
のいる医療機関の2019年  
の手術実績などを掲載した。

頸部の脊椎(頸椎)は、7  
個の椎骨と、その間でクッシ  
ョンの役割を果たす椎間板で  
できている。

脊椎の中には、脳からつな  
がる中枢神経(脊髄)が通っ  
ている。ここから枝分かれし

### 病院の実力「首の病気」 医療機関別2019年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	手術人数				20年9月現在(常勤)人
	頸椎性脊髄症	頸椎後縦靱帯骨化症	頸椎椎間板ヘルニア(脊髄症)	頸部神経根症(頸椎間板ヘルニア、頸椎)	
山形					
東北中央	57	25	0※	50	3
みゆき会	37	2	3	0	2
山形済生	20	5	0	1	3
山形大	3	0	0	0	1
秋田					
県立脳血管研究セ	12	5	7	11	2
大曲厚生医療セ	12	0	5	3	2
秋田赤十字	8	5	0	0	1
市立秋田総合	6	1	1	2	0
宮城					
仙台整形外科	31	2	0	21	6
JCHO仙台	29	2	1	1	2
大崎市民	23	7	0	6	1
石巻赤十字	19	2	0	3	1
東北大	10	2	0	2	6
将道会総合南東北	8	5	5	15	2
福島					
竹田総合	27	3	3	13	1
県立医大会津医療セ	23	10	2	2	2
県立医大	11	7	1	1	7

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター。  
※頸椎性脊髄症を含む

全国の調査結果は16日の「安心の設計面」に掲載しました。

## 首の病気

た神経を「神経根」と呼ぶ。首の病気は、椎間板の老化など様々な原因で脊髄や神経根が圧迫されるもので、起きる場所により「脊髄症」「神経根症」に分かれる。

「脊髄症」で最も多い「頸椎性脊髄症」は50歳以降の男性に多く発症する。手の痛みや、洋服のボタンがかけづらなどの運動障害が見られ、症状が進むと下肢にもしびれが及ぶ。進行性の場合は早めに手術をして、骨の一部を取り除くなどの対応が必要



東北中央病院 田中靖久 病院長

### 異変感じたらすぐ病院

「頸椎後縦靱帯骨化症」は、頸椎の背中側にある後縦靱帯が骨のように厚く硬くなる。椎間板の組織が壊れて中

東北中央病院(山形市和合町)には、首や腰に関する専門医4人が在籍。問診や診察

り脊髄を圧迫する。鎮痛薬の投与や運動療法のほか、悪化が想定されれば手術も検討する。椎間板の組織が壊れて中

を重点的に行い、「痛い」「凝っている」「しびれる」など、様々な表現で訴える患者の症状を丁寧に把握する。その上で、レントゲンやMRI(磁気共鳴画像)を使い、原因を特定して、最適な治療を施している。

「神経根症」の場合は、脊髄症と異なり、安静にすることで症状が改善することが期待できる。首の手術は繊細な技術が必要だ。専門医のいる医療機関での受診が望ましい。

長時間のデスクワークなどで首や肩の痛みを発症する「頸肩腕症候群」。1時間に1度は休息を入れて首の血液循環を良くすることなどで、痛みの軽減や消失が期待できる。

首の疾患のうち、「頸椎性脊髄症」は手足の麻痺症状が進行性で、手術の対象となる。田中靖久病院長は「早期に手術をすれば大きく改善する。ただ、発症後1年以上経過してからの手術では、進行は止められるものの、改善の度合いは少なくなる」と、早期治療の重要性を強調する。

田中病院長は、「首の病気は適切な治療さえすれば、良くなります。異変を感じたらためらわず病院へ」と呼びかけている。

身が飛び出す「頸椎椎間板ヘルニア」は、30〜40歳代の発症が多い。